

決意を新たに 六郷高校福祉科第9期生宣誓式

六郷高校（佐々木光雄校長）福祉科第9期生宣誓式が、5月29日に同校体育館で行われました。同校では、昨年度に卒業した同科第7期生の介護福祉士国家試験合格率が、同科開設以来最高の93.3%に上るなど、全国平均の63.9%を大きく上回る結果を残しています。

式では、介護実習服に身を包んだ2年生23名を代表して、竹内泰臣さんが「一人ひとりの心豊かな生活を支える介護福祉の専門職を目指し、知識と技術の研さんに励みます」と誓いの言葉を述べました。



心つなぐ 美郷米 金沢小学校児童が田園アートに挑戦

5月30日に、道の駅「雁の里せんなん」の西側の田んぼで、金沢小学校の3～6年生児童60名が田園アートの田植えを行いました。この取り組みは町をPRする「うりこめ美郷応援事業」の一環で行われており、今年で5年目になります。

今年は「心つなぐ美郷米」という文字に挑戦。文字には、今年度で閉校になる金沢小学校の伝統や思い出を新たな学校へとつなげていきたいという願いも込められました。児童たちは泥んこになりながらも、農協やみさぼーたーの皆さんから指導を受け、古代米の苗を丁寧に植え付けていました。



田園アートは7月上旬から8月中旬にかけて見ごろを迎えます。お近くにお越しの際はぜひご覧ください。



感動あり笑いありの生演奏に酔いしれました 陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート

6月2日に美郷町公民館で陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサートが行われました。コンサートには町のコーラス隊や美郷中学生も参加し、「美郷町民歌」や「美郷中学校校歌」の大合唱が会場内に響き渡りました。コンサートの後半では、曲に合わせた衣装に身を包んだ音楽隊員が登場して会場を沸かせるなど、会場を訪れた約400名の聴衆は大満足の様子でした。



美郷の歴史・食を伝えたい お寺巡り、みさとマルシェが開催されました

6月17日に美郷町観光協会主催のお寺巡りが行われ、町内外から63名の参加がありました。六郷地区には25のお寺があり、そのほとんどは六郷氏と佐竹氏が城下町の整備の一環として各地から集めたと言われていました。

今回で11回目を数えるお寺巡りでは、名水市場「湧太郎」をスタートして六郷地区内のお寺6カ所を巡り、それぞれのお寺の歴史について学びました。照楽寺では、秋田県指定文化財の「平将門の陣幕」が展示され、歴史上の人物にゆかりの品が身近な場所に残っていることに、参加者たちは驚いている様子でした。

また、同日、湧太郎において、美郷直売ネットワーク協議会が主催する「みさとマルシェ」が開催されました。「マルシェ」とはフランス語で「市場」を意味するもので、町内の9つの農産物直売所が一堂に集結し、採れたての山菜や地元特産品などを販売しました。小雨の降るあいにくの天候にもかかわらず、多くの方が訪れ、美郷の食材を買い求めていました。



再会を喜び合い思い出話に花を咲かせる 美郷町仙南ふる里会

6月10日に東京都内の会場で「美郷町仙南ふる里会総会・交流会」が開催されました。町からは、松田町長、高橋議長らが来賓として出席し、会員の方々と情報交換をしながら交流を深めました。

交流会では、特別ゲストとしてナマハゲが登場するなど、賑やかな雰囲気の中で、杯を交わしながら思い出話に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごしました。



今後開催される千畑ふるさと会、在京六郷会総会においても、同様の提案が行われる予定です。

問●町商工観光交流課 交流・商工班 ☎0187(84)4909

関東圏の三つのふるさと会の統合に承諾

これまで千畑ふるさと会・在京六郷会・仙南ふる里会の統合に関し、各会の代表による十分な協議が行われてきました。このたび、統合することに関し一定の目処が立ち、平成25年7月を目標に統合することについて、統合準備委員会から議案が提出され、会員の皆様から承諾をいただきました。

刺激と変化

美郷町長
松田知己

風



田園アートの田植えで
あいさつを述べる松田町長

先日、東京での仕事帰りのことで。帰りの新幹線まで多少の余裕があったので、上野に行ってきました。上野には美術館が集中し、行けば何らかの絵画鑑賞ができて刺激をもらえるところだったので。しかし、結果的に美術館には行きませんでした。それ以上に興味を引くイベントがあったからです。

入口には大きな氷塊と奥には多数の氷像、また周辺には水に関する出店と展示などなど。理系のつもりの私としてはムクム

クと好奇心が湧き上がり、その会場に足を踏み入れた次第です。「純氷まつり」と題したイベントでしたが、いろんなテントがある中の一つだけ周囲を幕で囲ったテントがありました。

「何だ？」と思いつく恐る恐る中を覗いてみたら、氷塊に強い光をあて、その変化を観察する展示でした。結論を言えば「びっくり」でした。水ですから光は透過し、初めは何もない状態でしたが、なんと徐々に氷の中に花弁が生まれてくるではありませんか。それがまた綺麗な形でしばし見とれていましたが、その花卉、「チンダル像」と言うそうです。強い光が表面のみならず内部も融解させ、氷の中に結晶様の内部変化をもたらすとのこと。日ごろ理系のつもりでい

た自分が恥ずかしくなりました。と同時に「これはまさにこれからの美郷だ」と直感的に思いました。

美郷町はこれまで、どちらかというと内部の方々内部エネルギーによって変化を果たしてきました。それはそれで一定の成果を挙げてきていますので良いのですが、客観的に「いい町」に成長するにはやはり外の目、外からの刺激も大切です。町の現状からすると、外部刺激を受けて内部変化していく観点を徐々に意識していく段階ではないかと思っているところでは。ではその外部刺激、誰に求めるべきか。高い見識と美郷への熱い想いをお持ちの方……。やはり、まずは美郷大使です。そういう意味も込めて、町では7月30日、2回目になる「美郷大使鼎談」を開催いたします。皆さん、是非会場に足を運んでください。そして大使の発言を刺激に、新たな変化に向けた意識共有を図りたいと思います。ご来場お待ちしております。